

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
315	日本文学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本文学	塩村 耕(SHIMORA Koh)		後期	月曜：4限
講義題目 Title	徒然草研究(2)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	原則として必ず、前期・後期を通して受講すること。			
授業の目的 Purpose	文学研究の基本的な立場は、「何が」書いてあるかもさることながら、「どのように」書いてあるか、に徹底的にこだわることにある。そして文学の神は細部に宿っている。そのような丁寧な読みを通して、徒然草の新たな解釈を探求する。 From the fundamental position of Japanese literary studies, we are thoroughly interested not only in “ what ” was written in a text, but also “ how ” it was written. Moreover, the God of Literature lives in the details. Using this extremely detailed reading style, we will aim to gain new insight into the text of Essays in Idleness.			
授業の内容 授業の方法 Content	まず、古典文学について、自らの人生に引き付けて親身に読む態度を、江戸期の達人の残した古注釈を通して学ぶ。そして、正確な解釈を目指すために、用語のニュアンスを正しく把握すべく、既成の注釈や辞書に頼らず、自ら用例を搜索しながら、新たな読み方の可能性を模索する。進め方は、各自が一章段を担当して、諸本の異同をまとめた校本を作成し、重要語の用例を博搜して注釈を付し、その中から自ら見出した問題点について説明する発表を行う。			
教科書 テキスト Textbooks	『徒然草』の全章段の原文を含んだ注釈書（抄出本は不可）を1種類以上、入手して持参する。出来れば古本が望ましい。戦前の注釈書でもよい。江戸期の和本ならば、なおよい。			
参考書 References	最も参照すべき古注釈書、林羅山『野槌』。特に和漢比較文学的な発想が優れている。松永貞徳『慰草』。自ら体験した類話を引きつつ親身に読む態度は参考になる。以上『徒然草古注釈集成』所収。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	折節のうつりかわるごとに、京都に出かける機会を持ちたい。出来るだけ足を使って、作品中の地名をたどることは、解釈にインスピレーションをもたらすかもしれない。その際には事前に江戸期の地誌を参照して下調べをしておく、旅の楽しみが倍加する。京周辺の主な地誌は『京都叢書』（臨川書店版の『新修京都叢書』がよい）に入っているが、殊に坂内直頼の『山州名跡志』は実地踏査と文献依拠とがよいバランスで、優れている。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	発表時の熱意と成果40%。 討論参加への熱意10%。 発表時に残された課題について小論文にまとめたレポート50%。 なお、期末試験を受験しなかった者は「欠席」とする。			
連絡方法 Contact information	メールが幸甚。アドレスは講義時に知らせる。			